

自販機 カメラを併設 桜井市 公園の防犯対策に



協定書を手にする長岡理事(左)と松井市長(桜井市役所で)

桜井市は、犯罪の予防に役立てようと、自動販売機とセットになった防犯カメラを市内の公園に設置してもらうため、一般社団法人「安全・安心まちづくりICT推進機構」(東京)と設置や管理に関する協定を結んだ。

子供の遊び場となる市内の桜井中央児童公園、芝運動公園、昭和児童公園に、計4台の自動販売機と防犯カメラを設置してもらい、自販機の売り

上げの一部をカメラなどの管理費に充てる仕組み。また、災害時には、自販機内の商品を無料で提供するという。

市役所で24日にあった調印式で、松井正剛市長は「寝屋川市の中学生2人が遺体で見つかった事件があったばかりで、公園の安全性を高めたい」とあいさつ。同機構の長岡茂治理事は「行政と協力し、地域の安全に貢献したい」と話し、協定書にサインした。